

# KANA GAWA ARTS PRESS

6&7 2013

神奈川芸術プレス Vol.112

CREATOR'S  
VOICE 131  
小此木 麻里

CREATOR'S VOICE 131

## 小此木 麻里

『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』に主演

県民ホール、KAAT、音楽堂が贈る  
夏休み芸術体験プログラム

街道でたどるエリア紹介 ～川崎・横浜エリア～

一緒に。～『椿姫』『隅田川二題』～

表紙撮影：福里幸夫

奇数月15日発行【隔月刊】





不思議な驚きに出会える、  
アトラクションみたいな  
空間になればいいな。

## 6歳の初舞台からプロ意識を持ち続けて

——小此木さんは幼少の頃から舞台出演などの芸能活動をされていたと伺っています。

そうですね。保育園の友達が児童劇団に入っていたのをきっかけに、5歳の時に「私も劇団に入りたい」と両親にお願いしました。父はもとシャンソン歌手で、父の家系も皆、歌が好きな人ばかり。私も赤ちゃんの頃から、しゃべるよりも早く歌を歌っていたそうです(笑)。自宅で父がギターを弾きながら歌っていたりして、音楽が身近にある環境で育ったせいもあると思いますね。保育園の文集にも「歌手になる。女優になる」と書いていました。

6歳の時に前進座の『山ホトギスほしいま』という舞台で初舞台を踏みました。台詞は一言もなかったんですけど、その時のことは今でもよく憶えています。それからいくつか舞台を経験した後、8歳の時に『レ・ミゼラブル』でリトル・コゼット役をやったのがミュージカル・デビューになりました。

——8歳でオーディションを受けたんですね。緊張しませんでしたか？

それがまったく緊張しなかったんです(笑)。付き添ってくれた親のほうが緊張していたくらいで、私は全然へっちゃら。オーディションでも、本番の舞台に立っている時も緊張しない、本当に物怖じしない子どもでした。小さい頃は舞台の仕事が立て続けにあったので、かなり忙しくて学校よりも仕事に行っていたほうが多かったですね。だから同年代の友達と遊んだ記憶があまりなく、修学旅行にも行ったことがなくて。よく舞台のカンパニーの、大人の人が

ちに遊んでもらっていたのを憶えています。

——子ども時代から舞台に立ってきたなかで、女優を一生の仕事にすると考えたのはいつ頃だったんでしょう。

実は、小さい頃から「仕事をしているんだ」という意識はちゃんとあったんですね。やめたいとか、他のことをしようとかは考えたことがなかった。毎日ハミガキをするのと同じような感覚で当たり前のように演劇活動を続けてきて、今に至っているような気がします。家族の応援のおかげでやって来られたとも思っていますね。子役の時は母がずっと付き添ってくれていたのですが、兄妹には淋しい思いをさせちゃったかもしれません。今でも家族全員、舞台公演のたびに観に来てくれて、すごく応援してくれています。ありがたいことだと感謝しています。

## 自分が楽しむことが何よりも大事

——今回のファミリー・ミュージカル『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』の演出・脚色を手がけるのはKAATの芸術監督である宮本亜門さんです。亜門さんとの最初の出会いを覚えていただけますか。

最初は、子どもの頃に観た亜門さん演出の舞台です。私、亜門さんの作品がとても好きで、『ガールズ・タイム～女のこよ、大志を抱け!』(1995年初演、2000年再演)や『ボーイズ・タイム～強く正しく遅く!!』(1999年初演、2000年再演)などを観て、いいな～と思っていたんですね。『ガールズ・タイム』はオーディションも受けさせてもらいました。他の作品でも子どもの頃からずっとオーディショ

ンを受けていて、いつもいいところまでは残していただくんですけど、なかなかご縁がなかったんです。でも「どうしても亜門さんと仕事がしたい!」とずっと夢見ている、ようやく一昨年の『太平洋序曲』で初めてご一緒させていただきました。亜門さん、私がオーディションを受け続けてきたのを憶えてくれたんですよ!「やっと一緒に仕事ができるね」って言ってくださったのがすごく嬉しかったですね。

——信念が通じましたね(笑)。念願の亜門さんの演出を受けてみて、いかがでしたか？

本当に多くのことを学ばせていただきました。稽古場では、亜門さん自身がとても楽しんで作られている姿が印象深かったですね。役者と一緒に動いて台詞を言ったり、ダンスをしながら演出をつけていくんです。亜門さんのそういうところが素敵だなぁと思いますね。作り手が楽しんで作った作品は、きっとお客さんにも楽しんでいただけると思うので、いつも笑顔で皆に話しかけてくれるので、明るく和やかな現場でした。

——その流れで、今回の『ピノキオ』の主演にお声がかかったということですね。ご自身の何を期待されての抜擢だと思われませんか？

えっ、何でしょう!? 少年みたいだからでしょうか(笑)。いつも友達同士のように亜門さんとお話させていただいていたので、そういうところかな? ハハハ。昨年の6月にワークショップを2週間やりまして、子どもたちの前で一回だけの公開公演を行いました。ワークショップの時はとにかく精一杯、全力で取り組んでいたんで、自分が楽しむ余裕を持てていなかったんですね。それを亜門さんは見抜



KAATキッズ・プログラム2013  
親子のためのファミリー・ミュージカル  
『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』

8月23日(金)～9月1日(日)

KAAT 神奈川芸術劇場・アトリウム特設ステージ

原作:カルロ・コロデー 作曲:深沢桂子

演出・脚色:宮本亜門 共同演出・振付:福島桂子

出演:小此木麻里、池田有希子、石鍋多加史、治田敦、西原純、  
岡田誠、中野順一郎、齊藤嵩也、平林靖子、水谷圭見、春衣

全席自由 子ども(4歳～中学生)2,000円

大人4,000円 親子チケット5,000円

発売日:KAme5/25(土) 一般6/2(日)

インターネット予約(24時間対応)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ ☎045-662-8866(10時～18時)

神奈川芸術プレス WEB版

取材時の様子やこぼれ話が読める!

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/artspress/>

## 『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』に主演 エンターテインメントの力を信じて、 夢の時間を共有したい。

子どもの頃から歌が大好きで、ミュージカルの舞台やライブでその涼やかな歌声を響かせてきた女優・小此木麻里。この夏、彼女は元気いっぱいのピノキオとなってテント舞台を駆け巡り、たくさん子どもたちに夢と希望を届けようとしている。憧れの演出家・宮本亜門が生み出す劇空間に主演として立つ喜び、そして新たなステップへ向けて沸き上がる情熱を、終始輝く笑顔で語ってくれた。

いていらしたんだと思います。「小此木が楽しむことが何より大事だから、めいっぱい楽しんで自由にやっちゃえばいいんだよ!」って言うてくださって。その言葉に救われて、本番は思い切り楽しんでやれたように思います。

子どもって反応が正直だから、楽しい時は心から笑ってくれるけど、集中が途切れてしまったら気持ちが離れてしまう。大変な挑戦だなと思いましたが、いざ子どもたちの前で演じてみて、本当に楽しんでもらえたと実感できたのは嬉しかったですね。参加型のお芝居になっているんですが、子どもたちも一緒になって積極的に動いてくれました。

——8月からの本公演は新しいキャストを迎え、KAATを皮切りに数力所の都市を回ります。各会場内にテント型の劇場を設置するのも興味深い試みです。たくさん子どもたちに出会うのが楽しみです。

はい、本当に! 亜門さんが「今の子は礼儀正しくて、一緒になってはしゃいだりする機会が少なくなっているから、何もかも忘れて自由に楽しめる作品にしたい」と最初におっしゃっていたんですね。誰が役者なのか、観客なのかもわからなくて、ここは劇場なのかどこなのか……。そんな、全部が一緒になっちゃうような作品にしたいんだ、って。不思議な驚きに出会えるアトラクションみたいな空間になればいいなと思っています。

普段は私、舞台出演のほかに、障害者の施設や老人ホームなどに仲間と一緒にライブ演奏で訪れることも多いんです。そういった場所で、音楽を聴いたことで、動かなかった手が動いたり、人には近寄れなかった子が気づいたら足元にいたり……。なんて奇跡のようなことが毎回起こるんですよ。エンターテインメントの力を信じて、皆に元気になっ

てもらえる作品に出来るよう、私自身も楽しみながら頑張りたいと思います。

取材・文:上野紀子/撮影:福里幸夫

わたしの神奈川・横浜

『太平洋序曲』で横浜が好きになりました。

——小此木さんの神奈川・横浜の思い出を教えてくださいませんか?

横浜に来る機会はずっとなかったんですが、一昨年の舞台『太平洋序曲』出演のために稽古を含めて2ヵ月間、KAATに通いました。すごくいい街だな!ってすぐに好きになりましたね。休憩になると仲間と一緒に山下公園に行って、風景に癒されてました(笑)。一度は住んでみたいですね。

——景色だけでなく、美味しいモノも?

はい、もちろん(笑)。劇場の近くの中華料理のお店に、よく皆で稽古終わりに食べに行きました。『太平洋序曲』のメンバーとはずっと仲良しで、今でもメールのやりとりをしているんですよ。

——『ピノキオ』でまた劇場通いが始まりますね。楽しみにしていることは何ですか?

また公園に行くことも楽しみですが、劇場に通うこと自体が楽しみです。KAATは劇場も素晴らしいんですが、稽古場も本当に気持ちのいい空間なんです。稽古場からも海が見えて素敵なんです。美味しいモノのほうは中華料理も大好きですけど、私、実は日本酒がすごく好きなんです(笑)。日本酒の美味しいお店に行けたら嬉しいな～と思ってますね。

# 小此木麻里



おこのき まり

東京都出身。6歳から芸能活動を開始し、1994年に『レ・ミゼラブル』でリトル・コゼット役、98年に『サウンド・オブ・ミュージック』でブリギッタ役、2001年には『アニー』でペパー役を演じる他、TVドラマ『渡る世間は鬼ばかり』などでも子役として活躍。主な出演作に、『ベガーズ・オペラ』『イーストウィックの魔女たち』『スーザンを探して』『蜘蛛の巣』『太平洋序曲』など。ディズニー映画『塔の上のラプンツェル』日本語吹替版にも参加。

## 見て、聴いて、触るパイプオルガン

神奈川県民ホール小ホールには、客席からもよく見える舞台正面にパイプオルガンが備え付けられている。夏にはパイプオルガンの公演が3種、予定されている。

7月20日の「パイプオルガン 夏休み子どもスペシャル」は、毎年夏休みに行われている体験型のコンサート。演奏を楽しむだけでなく、楽器の構造などを教えてもらえるほか、子どもは実際に鍵盤に触り音を出すこともできる。自由研究のよいテーマになりそうだ。

さらに今年度、バッハをテーマに開催されている無料コンサート「パイプオルガン・プロムナード・コンサート」が7月19日にあるほか、12月より県民ホールの改修工事に入るために、人気の高いクリスマスコンサート・シリーズを8月24日に実施してしまう。題して“オルガン&ハーブが奏でる 真夏のクリスマス”。パイプオルガンによるクリスマスの曲を真夏に聴くのも乙なもの。

### □神奈川県民ホール

http://www.kanagawa-kenminhall.com/  
☎045-633-3686

パイプオルガン・プロムナード・コンサート Vol.328  
～バッハに至る北からの道～

7月19日(金) 12:20開演(演奏時間 約30分)  
小ホール

出演:長谷川美保(オルガン)

入場無料 ※未就学児入場不可

パイプオルガン 夏休み子どもスペシャル

7月20日(土) 14:00開演 小ホール

出演:小島弥寧子(オルガン・お話)

終演後「パイプオルガンにさわってみよう」開催(子ども券限定)

パイプオルガン・クリスマスコンサート・シリーズ2013  
オルガン&ハーブが奏でる  
真夏のクリスマス

8月24日(土) 15:00開演 小ホール

出演:荻野由美子(オルガン) 杉山敦子(ハーブ)

詳細情報の確認はホームページからどうぞ。

## バラエティに富む劇場体験

KAAT神奈川芸術劇場では3種類の公演が用意されている。『ソルトブッシュ〜アボリジニの神秘の木』は参加型のダンス・パフォーマンス。イタリアのヴィジュアルシアター、TPOカンパニーとオーストラリアのアボリジニ出身のアーティストによるコラボレーション作品。子どもたちは舞台上がり俳優と一緒にダンスを楽しめる。子ども向けの作品として評価が高く、世界各地で上演されている人気作だ。

ミュージカルは『ピーターパン』と宮本亜門の演出による『ピノキオ〜または白雪姫の悲劇〜』の2本が上演される。『ピノキオ』は、舞台は円形で、会場はKAATのエントランス空間・アトリウム。普段はステージではない場所が非日常空間になるという、サーカスのような移動型劇場のワクワク感を体験できる。

### □KAAT神奈川芸術劇場

http://www.kaat.jp/ ☎045-633-6500

ブロードウェイミュージカル  
『ピーターパン』

7月14日(日)・15日(月・祝) ホール

主催:ホリプロ ☎03-3490-4949

(ホリプロチケットセンター)

原作:ジェームズ・M・バリ 演出:潤色:桑原裕子

出演:唯月ふうか、橋本じゅん、池田美佳、渚あき 他

『ソルトブッシュ〜アボリジニの神秘の木』

7月28日(日)・29日(月) 大スタジオ

構成・出演:TPOカンパニー(イタリア)&  
インサイト・アーツ(オーストラリア)

親子のためのファミリー・ミュージカル

『ピノキオ〜または白雪姫の悲劇〜』

8月23日(金)～9月1日(日)

アトリウム特設ステージ

原作:カルロ・コロデー 作曲:深沢桂子

演出・脚色:宮本亜門

出演:小此木麻里、池田有希子、治田敦、他

詳細情報の確認はホームページからどうぞ。



小ホール・パイプオルガン/ヨハネス・クライス社製(ドイツ) (県民ホール)



ここでご紹介した公演も「KAATキッズ・プログラム2013」に参加 (KAAT)

# 県民ホール、KAAT、音楽堂が贈る 夏休み芸術体験プログラム

夏休み、今年も各劇場・ホールは趣向を凝らし、少しでも多くの子どもたちに芸術体験の楽しさ、感動を伝えたいと願っている。

県民ホールには自慢のパイプオルガンを知ってもらう公演がある。

KAATでは海外からセンス抜群のダンス作品や、エントランス空間に突然ステージが出現する『ピノキオ』等を上演。大人も大いに気になる。

そして県立音楽堂では今年で3回目、ホール全体を4日間、子どもたちのために開放する「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ!」が行われる。

劇場・ホールに通いつめる夏になりそうだ。

インターネット予約(24時間対応) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>  
チケットかながわ ☎045-662-8866(10時～18時)

※無料公演のお問合せは各施設まで。





昨年のパイプオルガン夏休み子どもスペシャルの様子（県民ホール）



指揮者体験から（音楽堂） ©青柳聡



指揮者との交流ワークショップのワンシーン（音楽堂） ©青柳聡

## マエストロ聖響、今年もはりきる

今年で3回目となる「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ!」。夏休みの連続する4日間を構成するのは、バックステージ・ツアー、ミニ・コンサート、公開リハーサル、指揮者との交流ワークショップ等の体験プログラムはもちろん、最終日にはオーケストラ公演がついている。コンサートには「指揮者体験」「ステージ上で聴いてみよう!」など、客席とステージが一体になれるコーナーが随所であり、今年新たに「客席とオーケストラの共演コーナー」も加わって、より楽しくバージョンアップするという。また、ロビーには恒例の「楽器体験コーナー」が登場し、終演後ホワイエでは「交流会」も、実に盛りだくさんである。

ユニークなのが「音楽堂ジュニア・スタッフ養成」。参加する子どもたちは、ステージの準備、客席案内の実技、写真撮影や出演者への取材等を体験し、クラシック・コンサートを陰で支えるスタッフとしてのさまざまな仕事を学んでいく。最終日の開演前に、少し緊張した、でもはっきりと話す子どもの声が場内アナウンスで聞えてくる時の新鮮な感動を、大人のみなさんにはぜひご体験いただきたい。

地域に親しまれてきた県立音楽堂でしか得られない貴重な体験を、今年も子どもたちの心に残せるに違いない。

文 結城美穂子

□神奈川県立音楽堂

<http://www.kanagawa-ongakudo.com/>

☎045-263-2567

マエストロ聖響の夏休みオーケストラ!

【体験プログラム（参加費無料・要事前申込）】

●バックステージ・ツアー&ミニ・コンサート

8月14日（水）対象：小学生以上と引率者  
出演：石田泰尚（ヴァイオリン）、中島剛（ピアノ）

●公開リハーサル&  
指揮者との交流ワークショップ

8月15日（木）対象：小学生と引率者

8月16日（金）対象：中学生と引率者

●音楽堂ジュニア・スタッフ養成

8月14日（水）～17日（土）の4日間

対象：小学4年生～中学3年生

【オーケストラ・コンサート（有料公演）】

8月17日（土）午後3時開演

出演：金聖響（指揮）、外山啓介（ピアノ）  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 他

●指揮者体験（小中学生限定2名・要事前申込）

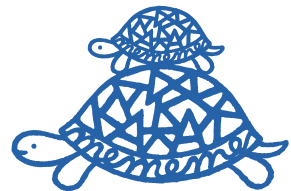
●ステージ上で聴いてみよう!

●客席とオーケストラの共演コーナー

●楽器体験コーナー（ホワイエ）

●出演者との交流会（終演後）

詳細情報の確認はホームページからどうぞ。



## 神奈川 まちのプロデューサー ①

山下公園通り会会長  
ホテルニューグランド会長  
原 範行氏

新連載では、神奈川の街の活性化、文化の発展に力を尽くされる「まちのプロデューサー」をご紹介します。第1回は、県民ホール、KAATが属する「山下公園通り会」の会長で、神奈川芸術文化財団副理事長を務められる原範行氏です。

150年ほど前、ペリーが来航して日米和親条約を締結したのが、この山下公園の地域です。近代日本の歴史はそこから始まったわけで、「日本の原点」がこの地にあることこそ、「横浜のアイデンティティ」だと思います。近くには「世界一のチャイナタウン」と言うべき横浜中華街、舶来の文明をいち早く取り入れた元町商店街があります。山下公園・中華街・元町の人たちが一丸となって、「近代日本のスターティングポイント」であるこの街の魅力、価値をあらためて見直し、それにふさわしい街づくりをしようと力を合わせています。

手前みそになりますが、ホテルニューグランドは85年を越える歴史をもち、マッカーサー、チャップリン、コクトーら名だたる方々が滞在された建物を、いまでも大切に使用しております。横浜には、このような「街の宝

物」と言える建築や古き佳き時代の香りを残す場所がところどころにあります。伝統的なものと近代的なもの、両方を併せ持つところが、街の魅力ではないでしょうか。

神奈川県民ホールとKAAT神奈川芸術劇場が、中華街と山下公園地区の間に存在していることの意味は非常に大きいです。ぜひ、これまでの高い公演レベルを保ちつつ、一般の方々により開かれた施設にしてほしいですね。そして、音楽や演劇を楽しまれた方々が、食事や散策をされながらその余韻を味わい、この地で過ごした一日を、幸せな観劇の思い出として大切にしていたけるといいなと思います。

3月に東急東横線・東京メトロ副都心線の相互直通運転が開通したことが追い風になって、これまで以上にたくさんの方々に足を運んでいただいているのはありがたいことです。これからも、一人でも多くの方々にこの地の魅力を満喫していただけるよう、誇りをもって「横浜のアイデンティティ」を伝えていきたいと思っています。（談）



## 街道でたどるエリア紹介

### 川崎・横浜 [東海道編]



初代広重 東海道五拾三次之内 戸塚 (保永堂版) 横浜市歴史博物館蔵

江戸時代、神奈川県には東海道をはじめ、江戸から西へと伸びるさまざまな街道とその宿場が置かれていました。旅人が休泊した宿場は、現在でも県内各地における文化の拠点となっています。

街道でたどるエリア紹介・第1回は東海道の川崎・神奈川・保土ヶ谷・戸塚の各宿がある「川崎・横浜エリア」です。

大名行列や参詣など、さまざまな目的で東海道を歩き交った人々。日本橋を早朝に出発し、多摩川を渡船で過ぎると神奈川県に入り、川崎から神奈川へと左手に東京湾を見ながら進み、保土ヶ谷から内陸へ入る頃には陽が斜めになります。そして、多くの旅人は江戸から約十里(約42km)の戸塚宿で泊りました。

監修：齊藤 司(横浜市歴史博物館)

### 1 横浜市歴史博物館

市営地下鉄「センター北駅」下車徒歩5分。「横浜に生きた人々の生活の歴史」をテーマに、2万年にわたる市域の歴史を展示。大塚・歳勝土遺跡(国指定史跡)を中心とする公園が隣接。

**6月8日(土)～7月7日(日) 収蔵資料展「博物館コレクション 絵巻でみる江戸時代」(仮称)**  
開館：9:00～17:00(券売は16:30まで) ※大塚遺跡を除く公園部分は24時間オープン  
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日) 観覧料 常設展示：一般400円 高校生・大学生200円 小学生・中学生100円 ※企画展は展示により料金が変わります。お問合せ：☎045-912-7777

### 2 横浜市栄区民文化センター リリス

**6月9日(日) 14:00 神奈川フィルハーモニー管弦楽団プラス・アンサンプル**  
金管五重奏とドラムのアンサンプルで、ポップス、ジャズ、定番のミュージカルナンバーを。全席指定 大人1,500円 小学生以下1,000円 ※4歳から入場可

**6月29日(土) 14:00 Lilis Junk Live Vol. 18 Brass Band(入場無料)**  
一般公募で集まった団体が個性的な演奏を行うリリス・ジャンクライブ。18回目の今回は「プラスバンド」がテーマです。お問合せ：☎045-896-2000

### 3 ミューザ川崎シンフォニーホール

リニューアルオープンで華やかに新シーズンを迎えたミューザ川崎。ホール開館記念日・川崎市市制記念日である**7月1日(月)**は「ミューザの日」と題して、飯森範親/東京交響楽団のコンサートのほか、ミューザを丸ごと1日楽しめる企画が用意されています。そして、7～8月には恒例の「フェスタ サマーミューザ KAWASAKI 2013」が！7月20日(土)～24日(水)「こどもフェスタ」、さらに7月28日(日)～8月11日(日)「サマーミューザ」では全19公演を予定。首都圏9つのオーケストラが連日登場します。お問合せ：☎044-520-0200

### 4 川崎大師

古くから「厄除けのお大師様」として知られ、弘法大師空海上人の御尊像が祀られています。

**6月23日(日) 14:00～ 二箇大法要**  
**7月17日(水)～21日(日) 川崎大師風鈴市**  
**7月21日(日) 13:00～ 大般若経転読会**  
参詣者で賑わう参道は、名物の飴切りの音や呼び込みの声で満ち、「残したい日本の音風景100選」にも選ばれました。お問合せ：☎044-266-3420

## その他の県内文化情報

### 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

**定期演奏会 会場：横浜みなとみらいホール**  
第291回 6月29日(土) 14:00開演  
指揮：金聖響 チェロ：ミハル・カニユカ  
トヴォルザーク/チェロ協奏曲 パルトーク/管弦楽のための協奏曲 他

第292回 9月27日(金) 19:00開演  
指揮：沼尻竜典 ヴァイオリン：石田泰尚 合唱：神奈川フィル合唱団  
ストラヴィンスキー/詩篇交響曲 グラスノフ/ヴァイオリン協奏曲  
R.シュトラウス/アルプス交響曲  
各回 S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生席(B)1,000円  
お問合せ：神奈川フィル・チケットサービス  
☎045-226-5107(平日10:00～18:00)  
<http://www.kanaphil.or.jp/>

### 県立神奈川近代文学館

**企画展『「中原中也の手紙」展—安原喜弘へ—**  
詩人・中原中也是最晩年、鎌倉に移住し、そこで最期を迎えました。中へは生前、知人にあててたくさんの手紙を書き送っており、なかでも最も多く現存する手紙が、友人・安原喜弘あての102通です。本展でその102通を一堂に展示するほか、ふたりの生涯や創作活動を紹介、安原編著『中原中也の手紙』に描かれた交流の軌跡を紹介します。

6月15日(土)～8月4日(日) 第2展示室 ※月曜休館(7月15日は開館)  
一般400円 65歳以上・20歳未満・学生200円  
高校生100円 中学生以下無料  
神奈川県横浜市中区山手町110  
(みなとみらい線「元町・中華街駅」徒歩10分)  
☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

### 神奈川県県民局くらし県民部文化課

**かながわ伝統芸能ワークショップ 「日本舞踊に学ぶ和の作法」**  
7月20日(土)～22日(月) 茅ヶ崎市総合体育館  
7月28日(日)～30日(火) 横須賀市文化会館  
8月16日(金)～18日(日) 県立青少年センター  
8月21日(水)～23日(金) 小田原市民会館  
参加費 3,000円(保護者同伴可)

**親子で挑戦!夏休み能楽ワークショップ**  
7月24日(水) 鎌倉能舞台  
小中学生とその保護者 ※小中学生のみの参加も可能  
参加費 子ども1,000円 大人2,000円  
お申込み・お問合せ：神奈川県県民局くらし県民部文化課 文化事業グループ  
☎045-210-3808

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員 法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビール株式会社 / 株式会社アサヒファシリテイズ / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ヴォートル / 有限会社エス・イー・オー 株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート / 株式会社オーチャー / 株式会社勝烈庵 / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 神奈川県民共済生活協同組合 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社 神谷コーポレーション株式会社 / カヤバシステム マシナリー株式会社 / 川本工業株式会社 / かをり商事株式会社 / 株式会社共栄社 / 株式会社合同通信 / コトブキシーティング株式会社 / 株式会社さが美 株式会社ジェイエムアドカンパニー / 株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局 / 財団法人シルクセンター国際貿易観光会館 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコープ / 生活協同組合ユーコープ / 生活クラブ生活協同組合 株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ / 月島機械株式会社 / 株式会社テレビ神奈川 / 株式会社東急エージェンシー / 東工株式会社 / 東神工芸株式会社 / ナイス株式会社 / 奈良建設株式会社 / 株式会社日建設計 日産自動車株式会社 / 日生商工株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / パナソニック ESエンジニアリング株式会社 / パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社 / 株式会社日立システムズ / 平安堂薬局 / 株式会社ホテル、ニューグランド 社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂 / 株式会社豊商會 / 株式会社ユニコーン / 株式会社横浜アーチスト / 横浜エレベーター株式会社 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 株式会社横浜ステーションビル 永年個人賛助会員 川村恒明 個人賛助会員 江田真子 / 大島正博 / 金子祐子 / 河崎一公 / 黒瀬博晴 / 本田正男 / 三角京子 協賛・協力 能舞台協賛 ナイス株式会社 音楽堂施設協賛 コトブキシーティング株式会社 協力 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 崎崎軒 / コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 株式会社東芝 首都圏南支社 / 株式会社野毛印刷社 / 野村證券株式会社横浜支店 / 三菱地所株式会社 (匿名：2社、2名)

(2013年4月2日現在)

賛助会員募集のご案内 公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問合せ：公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-6520





例年よりはやく満開になった桜のもと、3月後半の週末、神奈川県民ホールで『椿姫』、KAAT神奈川芸術劇場では『隅田川二題』の公演が行われました。お客様の感動の余韻をお届けします！

**共同制作オペラ『椿姫』神奈川県民ホール**  
3月23日(土)・24日(日)



椿姫(3月23日)



©青柳聡 椿姫(3月24日)

©堀田力丸

日本で上演されるオペラの質の高さに感銘を受けました。ヨーロッパで同じ演目を見たときよりも、はるかに大きな感動を体験しました。(60代 男性)

山下公園が目の前に見えて、気持ちのよいホールですね。清掃が行き届いているのも感心しました。(70代 女性)

2日連続で聴きにきました。9月の「ワルキューレ」も2日も楽しみにしています！副都心線とつながって近くなったので嬉しい。(50代 女性)

KAATには初めてきました。歌手と踊りを分けるという演出がひとつに溶け合って、素晴らしい空間が生まれていました。特に照明はひとつの光でいろいろな物語をしているように見事でした。

オペラと日舞が見事に調和された、芸術性高い作品でした。他の劇場でも上演してほしいです。(50代 女性)

「マダムバタフライX」に続いてKAATは2度目です。この劇場は音の響きがきれいで、照明が美しく鮮やかなところが好きです。



オペラ「カーリュウ・リヴァー」

©青木司



日本舞踊「清元 隅田川」

©青木司

**『隅田川二題』～オペラ「カーリュウ・リヴァー」/日本舞踊「清元 隅田川」～**  
**KAAT神奈川芸術劇場**  
3月22日(金)・23日(土)

**もっと、もっとアート。**

**音楽堂シリーズ**  
**“武満徹&古典派の名曲”**

恒例となった木のホール、県立音楽堂でのシリーズ。今年は武満徹と古典派作曲家の名曲をお聴きいただけます。

6月7日(金)、7月6日(土)  
神奈川県立音楽堂  
全席指定 4,000円 他  
指揮:伊藤翔(6月)、金聖賢(7月)  
管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団



金聖賢 ©Eisuke Miyoshi

**<ワンコイン>県民ホール 音楽のおくりもの**  
**村松稔之カウンターテナー リサイタル**

本格的カウンターテナーの登場！新しいスターの誕生を予感させる、フレッシュなコンサート。

6月15日(土)  
神奈川県民ホール小ホール  
全席指定 500円  
カウンターテナー:村松稔之  
ピアノ:鈴木賀子  
ヴィオラ:小倉萌子



村松稔之

**さいたまゴールド・シアター**  
**「鴉よ、おれたちは弾丸をこめる」**

平均年齢74歳の演劇集団《さいたまゴールド・シアター》。熱望に応え、初の海外公演&国内凱旋ツアーが決定！

6月15日(土)・16日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ  
全席自由 一般4,000円 他  
作:清水邦夫  
演出:蛭川幸雄  
出演:さいたまゴールド・シアター  
さいたまネクスト・シアター



**穂の国とよはし芸術劇場Produce**  
**「父よ！」**

穂の国とよはし芸術劇場PLAT・アールスペース(小劇場)柿落として上演される作品を、KAATで上演。

6月21日(金)～23日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ  
全席指定 一般4,000円 他  
作・演出:田村孝裕  
出演:平田満、ベンガル、徳井優、花王おさむ、井上加奈子



**パイプオルガン・プロムナード・コンサートVol.327**  
**天才少年バッハを不眠にした作曲家達**

「もっとバッハを！」というリクエストにお応えして、今年度のプロムナードはJ.S.バッハの音楽に焦点をあてます。

6月28日(金)  
神奈川県民ホール小ホール  
無料(未就学児入場不可)  
演奏時間 約30分  
パイプオルガン:野田亜希



**神奈川県民ホール・びわ湖ホール共同制作公演**  
**ワーグナー生誕200年記念「ワルキューレ」全3幕**

大好評だった3月の「椿姫」に続く共同制作オペラは、ワーグナー「ワルキューレ」に決定！(新制作/ドイツ語上演・日本語字幕付)

9月14日(土)・15日(日)  
神奈川県民ホール大ホール  
SS席15,000円～  
学生(24歳以下)2,000円  
指揮:沼尻竜典  
演出:ジョエル・ローウェルス  
ジークムント:福井敬、望月哲也  
ブリュンヒルデ:横山恵子、エヴァ・ヨハンソン 他



沼尻竜典 ©RYOICHI ARATANI

チケットのお求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866 (電話10:00～18:00)  
(県民ホール窓口10:00～18:00 / 芸術劇場窓口10:00～18:00 / 音楽堂窓口13:00～17:00月休)

**編集後記**

- 東急東横線・みなとみらい線が副都心線と直通運転になり、うれしいことに横浜へのお客様は確実に増えました。でもやっぱり東横線渋谷駅の始発駅の雰囲気が懐かしい。(K)
- 学んでから見るか、学ばないで見るか。まっさらな状態での感動も大切だけれど、知ることで広がる世界もある——「隅田川二題」の連続講座で、学びの楽しさを体験しました。(あ)
- 今号から誌面のリニューアルに加え、巻頭特集のこぼれ話やオフショット等を掲載するWEB版 神奈川芸術プレスもOPEN！皆様に益々お楽しみいただけるようがんばります！(ゆ)





神奈川県民ホール・KAAT神奈川芸術劇場



県民ホール ☎045-662-5901 / <http://www.kanagawa-kenminhall.com/>  
 KAAT ☎045-633-6500 / <http://www.kaat.jp/>

オープンシアター 2013

6月2日(日) ※会場、時間等はホームページでご確認ください。  
 県民ホールでは、オーケストラによる「動物の謝肉祭」を上演。聴衆の拍手の大きさを演奏曲を決めるお楽しみも。他にも無料のパイプオルガンコンサートや工作ワークショップ、バックステージツアーなども実施。  
 2011年開館のKAAT。今年のオープンシアターは1階のアトリウムで、カナダから来日する劇団コープスが「ひつじ」を上演。申込不要・観覧無料です。また、6月27日(木)~30日(日)には「KAAT the ツアー For キッズ!」を開催。大好評企画の初の子ども版です。

横浜情景  
「開門」



横浜美術館

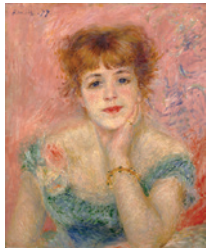
プーシキン美術館展 ☎03-5777-8600(ハローダイヤル)  
<http://www.yaf.or.jp/yma/>

Welcome to the Jungle  
 熱々! 東南アジアの現代美術

開催中~6月16日(日)  
 観覧料 一般1,100円 大学・高校生700円  
 中学生400円 小学生以下無料

プーシキン美術館展 フランス絵画300年

7月6日(土)~  
 9月16日(月・祝)  
 観覧料 一般1,500円  
 大学・高校生1,200円  
 中学生600円  
 開館時間:  
 10:00~18:00  
 (8月、9月の毎週金曜日は  
 10:00~20:00、入館は  
 閉館の30分前まで)  
 休館:木曜日  
 (8月1日、15日は開館)



ピエール=オーギュスト=ルノワール:ジャンヌ・サマリーの肖像(1877年)  
 ©The State Pushkin Museum of Fine Arts, Moscow

横浜セントラルタウンフェスティバル  
 "Y154"

フェスティバル事務局 ☎045-641-1577  
<http://www.y151-200.com/>

5月24日(金)~26日(日)  
 馬車道、関内、山下公園通り、中華街、元町・山手の6エリアで開催。  
 今年は「恋愛」をテーマに行われる。  
 5月25日(土)・26日(日)には、山下公園特設ステージで、ダンスや音楽ステージ、フードコートでは横浜の味を堪能できるイベントが開催される。



(横浜市在住カメラマン)  
 森日出夫さんの写真でめぐる  
 「私だけが知ってる横浜」。

横浜情景

「かつての横浜」の雰囲気を残すところといえばここ。山下埠頭と本牧埠頭に囲まれた新山下のあたりです。写真の右にあるのが横浜港に唯一残る開門(こうもん:水位差を利用して船を通航させる装置)。いまはもちろん使われていませんが、かつてこの一帯は貯木場だったんですね。子どもの頃からよく遊びに来ていた好きな場所です。  
 ここに立つと、近くの船だまりで、船から荷降ろしする人たちが忙しく働き、賑やかだったかつての港の風景が戻ってくるようです。

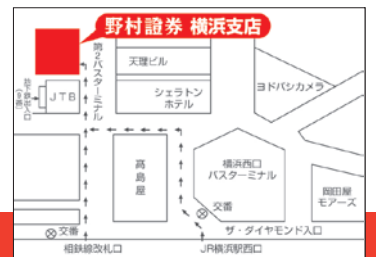


MAGCUL.NET 神奈川県発、文化発信ポータルサイト、  
 マグカルドット ネット  
**MAGCUL.NET**

かながわメンバーズ  
**Kame**  
 KANAGAWA members  
 登録無料!メルマガ定期配信  
**県内のアート情報はここで探そう!**  
<http://www.kanagawa-at.info/>  
 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

ご信頼いただける、  
 きめ細かなサービス体制を。

野村は、お客さまのニーズに的確にお応えするコンサルティング、そして世界の金融商品の豊富な品揃えなど、  
 きめ細かなサービスの提供で、お客さまにご信頼いただけるよう努めております。



**野村証券 横浜支店** 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-5-10 TEL 045-311-1671  
 ■窓口営業時間 平日 午前9:00~午後3:30 ■電話受付時間 平日 午前8:40~午後5:10